



## 令和7年度の振り返りと次年度に向けての方針

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和

令和8年度がスタートしました。社会に目を向けると、物価の高騰や深刻な人手不足、さらには国際情勢の不安定化など、私たちを取り巻く環境は一層厳しさを増しています。一方で、秋田県の最低賃金は1,031円となり、80円（上昇率8.4%）の上げが実現しました。全国でも上位の引上げ水準となり、地域の前進を感じる動きも見られます。当協会顧問である鈴木健太知事のご就任以降、県政の様々な取り組みに変化の兆しが見られ、秋田が前進していく実感を持てることを大変心強く感じております。

さて、就任5年目となった令和7年度は、ACMAビジョン「秋田県民と介護支援専門員の未来創造」のもと、次の3つの事業方針を掲げ、職能団体としての運営体制の進化に取り組みました。

1. 組織運営の一体化深化とDXによる構造改革
2. 研修・事業の質的向上と標準化
3. 政策提言機能の強化及び地域貢献と未来に向けての挑戦

まず、1月より副会長が事務局常勤となり、理事会と業務執行の一体化が大きく前進しました。会員管理および会費徴収は県協会事務局へ完全移行し、LINE WORKSの登録率も70%に達しました。これにより会費徴収のキャッシュレス化を進め、事務負担の軽減と業務効率化を実現しました。また、部会機能を見直し、法定研修運営特別委員会、災害対策特別委員会、調査研究委員会、広報委員会へと再編しました。機能分化を進めることで、組織としての推進力を高め、運営体制の深化と構造改革を図りました。

次に、令和6年度に設置した「新カリキュラム検討委員会」を発展させ、「法定研修運営特別委員会」として再編しました。研修運営全般に加え、カリキュラムの整備、修了評価の仕組み構築、受講後アンケートの体系化まで一体的に担うことで、法定研修の質向上と課題解決を進めました。

さらに、法定外研修においても「災害対策」や「ヤングケアラー対応」など、専門領域を超えたテーマに取り組み、介護支援専門員としての資質向上を図りました。また、日本介護支援専門員協会の要請に応じ、多くの人材を派遣できたことは、本県の専門性が高く評価されている証であると捉えています。

そして、「未来への挑戦」として掲げた新しい取り組みについては、年度内の実現に至らなかったものもあります。しかしながら、「政策提言チーム」設置に向けた会員アンケートを実施し、現場の実態や制度への要望を把握することができました。

また、「仕事と介護の両立支援相談窓口」の試行設置や、協会立「居宅介護支援事業所」の設立に向けた検討についても、総会承認のもと着実に準備を進めています。これらの取り組みは、令和8年度において具体化を図ってまいります。

会長として3期目の折り返しを迎え、就任から5年が経過しました。ここまで務めることができましたのは、秋田県長寿社会課をはじめとする関係機関の皆様、そして理事・会員の皆様のご理解とご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

令和8年度は、介護報酬の臨時改定や居宅介護支援事業所への処遇改善加算の新設など、制度環境が大きく動く年となります。しかし、どのような時代においても、私たちがなすべきことは変わりません。これまで積み重ねてきた取り組みをさらに進化させ、協会の持続的な発展につなげていくことです。

会員一体となり、「オール秋田」で未来を創造してまいります。

すべては、秋田県民と介護支援専門員の未来と幸せのために...

### 【目次】

【巻頭言】秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和	1 P
【県内3地区協会活動紹介】	2～4 P
○県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本	○中央地区：男鹿南秋湯上・秋田・由利本荘にかほ
○県南地区：大仙仙北・横手・湯沢雄勝	
【各研修報告】	5 P
【ケアマネペンリレー】・【介護支援専門員実務研修受講試験結果他】	6 P
【秋田県介護支援専門員協会 運営活動報告】（事務局・委員会等）	7～8 P

## 県内3地区協会活動紹介

- 県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本
- 中央地区：男鹿南秋湯上・秋田・由利本荘にかほ
- 県南地区：大仙仙北・横手・湯沢雄勝

### 県北地区介護支援専門員協会

地区会長：原田 正胤（八峰町地域包括支援センター）  
 事務局：田森 敏男（小規模多機能型居宅介護事業所 花みずき）  
 TEL：018-869-7776 FAX：018-869-7779  
 地区会員：161名（令和8年2月28日現在）

#### 【活動報告】

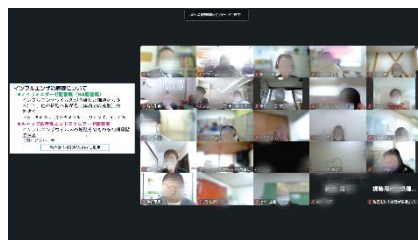
令和7年度は地域で活躍される介護支援専門員を始め、各関係機関の専門職の皆さまとの連携をとり、研修会場での実践形式を取り入れながらオンラインと会場でのハイブリット形式で、仲間づくりの一環として研修会を企画開催して参りました。

今後は、更に人材不足やサービス調整の困難化、業務量の増加、制度説明への対応など、介護支援専門員一人ひとりの負担は確実に重くなっているなかで、ともに学び、考え、支え合う仲間としてご入会いただけるような活動を目指します。

#### 【研修報告】

《講習月日 令和7年6月7日（土）13：30～15：30》

研修内容：第1回 医療介護連携研修  
 テーマ：「適ケア的リハビリテーション」  
 講師：大湯リハビリ温泉病院 リハビリ室主任：大田 健太郎 氏



《講習月日 令和7年6月25日（水）13：30～15：00》

研修内容：令和7年度 介護支援専門員スキルアップ研修（ハイブリット）  
 テーマ：「ケアラーについて ～ケアラーの現状と対策」  
 講師：秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課 副主幹：内藤 麻衣子 氏 主任：佐藤 真沙子 氏（副担当）

《講習月日 令和7年8月2日（土）13：30～15：00》

研修内容：令和7年度 第1回ケアマネ道場（参加者：25名）  
 テーマ：「事業継続化（BCP）災害編」（オンライン）  
 講師：わたなべ内科医院 事務長：菊地 雅也 氏

《講習月日 令和7年9月12日（金）13：30～15：00》

研修内容：令和7年度 第2回ケアマネ道場（オンライン）  
 テーマ：「身寄りのない高齢者等の権利擁護支援を考える」  
 講師：鹿角市社会福祉協議会 事務局長：浅水 和也 氏

《講習月日 令和7年10月29日（水）13：30～15：00》

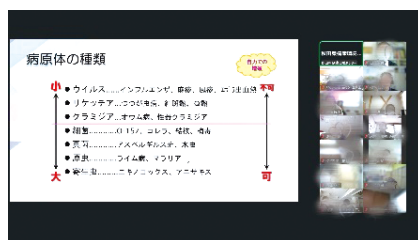
研修内容：令和7年度 第2回医療介護連携研修会（ハイブリット）  
 テーマ：「いまさら聞けない！お口のこと全部教えます！」  
 講師：医療法人 佳聖会 歯科医：東根 まりい 氏 理事長：深川 聖彦 氏

《講習月日 令和8年1月21日（水）13：30～15：00》（参加者：37名）

研修内容：令和7年度 第3回ケアマネ道場（オンライン）  
 テーマ：「事業継続化（BCP）感染症」  
 講師：秋田県健康環境センター 保健衛生部 ウイルスチーム：樫尾 拓子 氏

《講習月日 令和8年2月25日（水）13：30～15：00》

研修内容：令和7年度 第3回医療介護連携研修（オンライン）  
 テーマ：「介護と栄養 ～後悔させないケアマネスキルとしての栄養学～」  
 講師：公益社団法人 秋田県栄養士会 管理栄養士：工藤 円 氏



## 中央地区介護支援専門員協会

地区会長：松本 慶一（企業組合ほっと）

事務局：三浦 秀己

T E L：0184-74-3163（企業組合ほっと） F A X：0184-74-3164（企業組合ほっと）

地区会員：281名（令和8年2月28日現在）

### 【活動報告】

今年度、中央地区介護支援専門員協会では、介護報酬改定後の環境変化をふまえ、これまでの研修成果を土台にしつつ、役員・会員が一体となった取り組みへと転換を図りました。事業の柱として「介護支援専門員としての原点回帰とマネジメントスキルの向上」「ICTと連携の強化による業務効率化と地域共生の推進」「担い手の育成と協会の継続に向けた取り組み」の3点を掲げ、協会運営の可視化や情報発信の強化、会員の維持・増強、県協会との連携促進を進めてきました。また、総会・役員会等のオンライン活用により運営の機動性を高めるとともに、研修会（年3回）に加え、新任向け「秋田けあまね塾」、主任ケアマネサロン、あきたケアマネカフェ等を通じて、圏域ごとの学びとつながりの場を継続的に創出し、専門性の向上と地域課題への対応力強化に努めました。

### 【研修報告】

○第1回 令和7年8月22日（金）13：30～16：30

内 容：ケアマネジメントの枠組みとシャドーワーク  
（身元保証の意思決定支援）

会 場：潟上市民センターかたりあん

講 師：秋田中央地区介護支援専門員協会 綿貫 哲 氏  
あきた結いネット：坂下 美渉 氏  
企業組合ほっと：松本 慶一 氏



○第2回 令和7年11月7日（金）14：00～16：00

内 容：難病・精神障害・生活課題を抱える方への支援を学ぶ  
～多世代に届くコミュニケーションとアセスメント～

会 場：由利本荘市文化交流会カダール

講 師：One-or-Eight.LCC 代表取締役：中村 洋文 氏  
就労支援事業所なすの 管理者：小口 智恵子 氏



○第3回 令和8年3月24日（火）14：00～15：30

内 容：事例で学ぶ介護現場のカスハラ対策

講 師：弁護士法人おかげさま 代表弁護士：外岡 潤 氏  
株式会社SAIKO 代表取締役：菅原 彩子 氏  
※あきた介護業務「カイゼン」サポートセンター様との共催

○令和7年度秋田けあまね塾（第11期生）～1つ上のケアマネを目指すために～

○あきたケアマネカフェ 各圏域でリアル開催

○主任ケアマネサロン（オンライン）各月第3金曜日 19：00～20：30

## 県南地区介護支援専門員協会

地区会長：小原 秀和（社会福祉法人あけぼの会）  
 事務局：塚本 信太郎（すこやか横手居宅介護支援センター）  
 T E L：0182-33-7777 F A X：0182-33-7722  
 地区会員：294名（令和8年2月28日現在）

### 【活動報告】

県南地区の研修事業は、保険者や各職能団体の皆様のご協力のもと企画・運営しています。  
 今年度は、障害福祉、災害、ICT、地域支援、連携など多様なテーマで研修を実施し、知識・技術の向上に加え、会員交流を通じて知見を深める機会となりました。

### 【研修報告】

#### ◇第1回研修会 令和7年6月13日（金）

内 容：制度理解から実践へ!! 障害福祉・介護保険サービス連携と  
 精神障害者支援のポイント  
 講 師：社会福祉法人雄勝なごみ会 湯沢市基幹相談支援センター  
 所長兼相談支援係長：長沼 敏幸 氏  
 相談員（主任）：藤田 啓太 氏



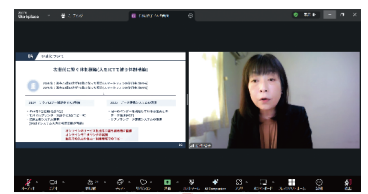
#### ◇第2回研修会 令和7年11月27日（木）（共催：NPO法人Yokotter）

内 容：災害時も役立つ介護支援専門員であるために  
 講 師：大阪府健康医学部・日本災害医療薬剤師学会：辻野 悦次 氏  
 社会福祉法人北伸福祉会：高 康紀 氏／山下 郁美 氏



#### ◇第3回研修会 令和8年2月10日（火）

（共催：大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事務所）  
 内 容：伝わる力で広げる福祉の未来  
 講 師：E-ComWorks（株）プレゼンテーションプランナー  
 山本 衣奈子 氏



#### ◇未来対応型スキルアップ研修 令和7年12月11日（木）

内 容：変化を楽しみ時代に合わせて適応する  
 講 師：県南地区介護支援専門員協会副会長：石橋 裕子 氏

#### ◇横手地区 ケアマネジメント研修会 令和7年7月25日（金）

内容①：重層的支援体制整備事業について  
 内容②：介護予防デイサービスの給付適正化について  
 内容③：配食サービスの見直しについて  
 講 師：横手市まるごと福祉課／横手市ふくしの窓口



#### ◇横手市在宅医療・介護多職種連携研修会（共催）令和8年2月13日（金）

内容①：在宅医療連携について  
 内容②：スマートモビリティ SUMAMO・機器説明  
 講 師：秋田大学大学院医学系研究科遠隔医療推進開発研究センター 准教授：岡崎 光洋 氏  
 地域医療連携推進法人在宅オンライン医療センター 代表理事：細谷 拓真 氏

## 研修報告(県受託分・協会自主研修)

<p>研修名：ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修 【R7.11.21・R7.12.5 27名修了】</p> <p>講師名：秋田県介護支援専門員協会役員 協力 大曲仙北広域市町村圏組合</p> <p>アンケートより： <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までケアプラン点検を受ける側でしたが、違う目線で見ると、様々な視点があるのだと感じました。私は本人中心型のケアプランを作りがちなケアマネなので今後も気を付けていきたいです。</li> <li>・自分のアセス、プラン等にあらためて気付きや不足を感じた。言葉の表現で相手のモチベーションを上げることに繋がる等、考えさせられた。自分自身の実践のほか、事業所内でも助言できるようにしていきたいと思った。</li> <li>・本人への詳細な視点はもちろん、家族の負担や思い等、目を配る必要があることを再認識できた。また、日々の生活でのリスク管理、食事や水分摂取量。水分摂取の励行はしているが、本人にとって必要な水分量の把握というところまで踏み込んでアセスメントをとることができなかった。アセスメントの深堀の大切さを学びました。ありがとうございます。</li> </ul> </p>
<p>研修名：介護予防従事者研修（協会自主事業） 【R7.12.10 87名修了】</p> <p>講師名：秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 仙北市民福祉部包括支援センター 主査：草薨 那津喜氏 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 横手市増田在宅介護支援センター ソーシャルワーカー：菊地 希氏</p> <p>アンケートより： <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画書作成の考え方や記載の仕方をわかりやすく学ぶことができ、実務の参考になりました。</li> <li>・介護予防の研修の中で一番理解しやすい研修でした。スライドも話す内容も素晴らしかったです。</li> </ul> </p>
<p>研修名：令和7年度 介護支援専門員等に対する実践力向上研修（初任者フォローアップ研修・復職者向け研修） 【R8.2.24 16名修了】</p> <p>講師名：金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科非常勤講師 ふくしの人づくり研究所：奥田 亜由子氏</p> <p>アンケートより： <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの重要性、主訴から意向に向けての考え方について大変勉強になりました。</li> <li>・本人の意向を引き出すために、適ケアの活用や意思決定支援の大切さを学べた。</li> <li>・アセスメントの1つの手段を学べました。</li> <li>・具体的にしていける事で、利用者の生活を支えていく事が出来る為。</li> <li>・自分に足りないものがあるので参考にしていきます。</li> <li>・適切なケアマネジメント手法の活用の仕方が理解できたから。</li> </ul> <p>考察：「日ごろの業務で感じている不安や悩みを少しでも解消できるように」という目的で、アセスメント（標準課題分析項目・新しいケアマネジメント手法等）に着目した研修を開催した。 講師の奥田亜由子氏より、具体的な考え方や運用手法等について、提供した事例をもとに、講義、グループワーク等により学びを深めることができた。</p> </p>
<p>研修名：介護支援専門員等に対する実践力向上研修 事業所管理者向け研修 【R7.11.13 116名修了】</p> <p>書くべきことをもらさない！ 居宅介護支援経過～利用者の権利擁護と事故予防のために、記録の効率化を推進しよう！～</p> <p>講師名：一般社団法人あたご研究所 代表理事：後藤 佳苗氏</p> <p>アンケートより： <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援経過は単なる記録ではなく、様々な場面でケアマネを守る側面もあると思うので、事業所全体で意識をして取り組みたい。また、法令に従い根拠に立ち返る事や、今後の動向についても把握してゆくことの重要性も確認できました。</li> </ul> </p>
<p>研修名：令和7年度 ICTを活用した生産性向上スキル習得講座（協会自主事業） 【R8.2.19 46名修了】</p> <p>「文字・言葉だけ」から「共通の景色」へ！</p> <p>講師名：NPO法人タダカヨ</p> <p>研修内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は生成AI「NotebookLM」を活用した『ビジュアルケアマネジメント』を実践。文章だけでは伝わりにくいケアプラン等の情報をAIでイラスト化し、利用者・家族・専門職の間で一瞬にして「共通の景色（イメージ）」を共有する手法を学びました。</li> </ul> <p>アンケートより： <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の9割が「楽しかった」と回答。「ICTへの苦手意識が希望に変わった」「利用者への説明に自信が持てる」といった声が寄せられ、約8割が実務での活用に意欲を示しました。「失敗しても誰も傷つかない」という講師の言葉通り、楽しみながら次世代のケアマネジメントに触れる充実した研修となりました。</li> </ul> </p> </p>

### 秋田県連携事業「令和7年度 ケアラー支援・普及啓発事業」

#### ○ケアラーサポートLINE 秋田

対応日：月曜日～金曜日（土日祝除く）10：00～18：00

ヤングケアラーを含む、ケアラーの方が気軽に参加できる LINE 相談窓口として、専門の知識を有する職員（社会福祉士2名）が対応し、必要に応じて関係機関へつなぐ役目を担っております。受付件数 累計 35件 令和8年3月2日（月）現在

#### ○ヤングケアラートークルーム

開催日：令和7年7月24日（木）・令和8年1月8日（木）午前の部…10：00～11：00 午後の部…15：00～16：00

中学生から大学生までの学生を対象とした、ヤングケアラーの相談や交流の場として、夏休み、冬休みの期間に、午前と午後の2回開催しております。

#### ○ケアラー支援・普及啓発セミナー

開催日：令和7年9月13日（土）14：00～16：00 / 令和7年9月24日（水）18：00～20：00 / 令和7年9月30日（火）14：00～16：00

「共に感じ、考えるヤングケアラー支援～現場で求められるニーズとは～」を全県3地区（県北・中央・県南）会場参集で開催し、合わせて147名の方にご参加いただきました。

講師：eSocial Cue 株式会社 代表取締役 社会福祉法人北杜 障がい者支援施設ほくと 作業療法士 あきたきょうだいネットワーク 共同代表：若狭 利伸氏

#### ○相談援助従事者研修

開催日：令和7年12月2日（火）14：00～16：00

「ヤングケアラーの理解とその対応方法」を開催し、124名の方にご参加いただきました。

講師：秋田県教育庁高校教育課スクールソーシャルワーカー：佐藤 秀一氏

#### ○外部講師依頼について

当協会では、ケアラー・ヤングケアラーに関する研修について、外部講師依頼を受け実施しました。令和7年度実績：山形県介護支援専門員協会、御所野地域包括支援センターけやき、八峰町地域包括支援センター、泉地域包括支援センターリンデンバウム、羽後町地域包括支援センター、合同会社あおぞら

## ケアマネ・ペンリレー

## 「チャレンジャー精神」

由利本荘市居宅介護支援センター「さくら」  
介護支援専門員 齋藤 博隆

原稿の作成依頼を頂いた時、どんなことを書いたら良いかと色々悩みましたが、考えた末、私の人となりについてお話させて頂きます。文章の構成や誤字脱字があると思いますので、予めご了承下さい。

私の勤務する居宅介護支援事業所は、精神科病院が母体となっており、介護老人保健施設や障害福祉施設などが併設されています。職員は4名体制となっており、年齢も近い年代であることから、業務の話に限らずプライベートの話も含め、活発にコミュニケーションを取れる仲の良さが特徴です。

そんな整った環境の中で仕事をさせて頂いていますが、時には仕事がうまくいかず、へこんでしまうこともあります。そんな時には、一緒に頑張っている同僚に相談してアドバイスをもらいながら、問題を解決していく方法を考えていくようにしています。

私自身の仕事ぶりを振り返ると、高齢分野だけでなく、障害分野、生活困窮、精神疾患などの多角的な知識を習得できていないことによる、勉強不足を痛感しています。勉強不足を解消するには、新たな学びを深めなければならないと思っていますが、なかなか踏み出すことが出来ていないのが現状です。

「チャレンジャー精神」この言葉は、高校時代の野球部の恩師より、試合前の円陣の中でお話し頂いた言葉です。この言葉の通り、何事にも挑戦し続ける気持ちを持ち続け、その一つ一つが自分の糧となると信じて、日々精進していきたいと思います。

齋藤さんありがとうございます。次回は県南地区です♪

## 【インフォメーション】秋田県社会福祉協議会

## 令和7年度秋田県介護支援専門員 実務研修受講試験について

《年度別 受験者数・合格者数・合格率》

《地域別（勤務先による）》

年度	受験者数	合格者数	合格率		令和5年度	令和6年度	令和7年度
令和5年度	568人	80人	14.1%	県北	26人	35人	31人
令和6年度	512人	138人	27.0%	中央	34人	62人	40人
令和7年度	470人	107人	22.8%	県南	20人	41人	36人
				計	80人	138人	107人

## 職種別合格者数

薬剤師	1人	社会福祉士	6人
保健師	1人	介護福祉士	83人
看護師	7人	義肢装具士	1人
准看護師	1人	精神保健福祉士	2人
理学療法士	2人	相談援助業務	3人
作業療法士	2人		

今年度の試験は令和7年10月12日に実施し、107名の方が合格されております。合格者を対象とした実務研修では、従来どおりの訪問を伴う実習を行いました。御協力いただきました事業所の皆様に感謝申し上げます。

## 秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

### ◆ 事務局 ◆

#### 秋田県介護支援専門員協会からのお知らせ

令和7年4月1日より、会員の皆様の利便性向上のため、会員管理・会費の納入等に関する手続きを県協会事務局にて一括して行っております。

なお、会費の納入につきましては、より迅速かつ正確に行えるよう、リコーリース株式会社による口座引き落としを原則としております。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。（事業所様からご納入いただく場合は、事務局までご連絡ください。）

#### 会員情報の変更をお知らせください

転居・転職・異動等に伴い、会員情報（氏名、自宅住所、勤務先等）に変更が生じた場合には、県協会事務局及び日本介護支援専門員協会へ届け出をお願いいたします。

【入力フォームはこちら】

県協会のHP ⇒ <https://www.acma.jp/henkoutaikai/>



日本介護支援専門員協会のHP ⇒ [https://www.jcma.or.jp/?page\\_id=27](https://www.jcma.or.jp/?page_id=27)



### ◎ 法定研修運営特別委員会 ◎

当委員会では、法定研修における講義動画の運用を安定的かつ統一的に実施することを目的として、以下の事項に取り組みました。

- ・進行表の作成
- ・休憩時間の統一
- ・運営側におけるオンライン参加の推奨
- ・チャット機能の活用方法の統一
- ・スライド提出期限の統一
- ・修了評価システムの試行運用

事務局ならびに受講生各位のご理解とご協力により、昨年度の法定研修は滞りなく終了することができました。次年度におきましては、今年度の検証結果を踏まえ、より円滑で質の高い研修運営を実現すべく、引き続き改善と整備に努めてまいります。

### ◎ 災害対策特別委員会 ◎

秋田県独自の災害対策マニュアル作成へ向けての話し合いを行ってきました。

日本協会との連携や報告の方法の検討、他県の活動はどのようなことをしているのかをリサーチしてきた中で、宮城県ケアマネジャー協会の取り組みを知り「災害関連研修」として研修を行いました。

アンケートなどの反応を見ながら来年度に繋げて早期のマニュアル作成に繋げていきたいと思っております。

### ◎ 広報委員会 ◎

令和7年度の広報紙は新たにQRコードを貼付しております。

広報委員会では、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』の更新と共に、『Facebook』を通じて会員及び県民の皆様幅広く情報提供をしております。『LINE WORKS』を通じて会員の皆様に情報提供も行っており登録を行っていただければと思います。各種研修会（事業所へ配布されていない研修情報）及び最新の情報等については、ホームページやFacebookをご覧ください。

秋田県介護支援専門員協会

検索

HP



Facebook



## ◎ 調査研究委員会 ◎

### 秋田県内介護支援専門員業務実態アンケート調査 結果報告と御礼

令和7年12月に実施いたしました「秋田県内介護支援専門員業務実態に関するアンケート」では、師走のお忙しい時期にもかかわらず、682名という大変多くの皆様から回答をいただきました。貴重なお時間を割いて現場の声を届けてくださったことに、厚く御礼申し上げます。

皆様から寄せられたデータは、秋田の介護現場が直面している課題を鮮明に映し出しています。その主な内容を抜粋してご報告いたします。

### アンケートから見た現場の実態

今回の調査では、制度の枠組みだけでは見えにくいケアマネジャーの苦勞が数値として表れました。

#### ・「シャドーワーク」の常態化

回答者の約93%が、報酬の対象外となる「法定外業務」を経験しています。行政手続きの代行や緊急時の対応、さらには郵便物の発送まで、本来の業務範囲を超えた「地域の支え手」としての役割が大きな負担となっている現状があります。

#### ・処遇と労働環境の乖離

年収400万円未満の層が約77%を占めており、担っている責任の重さや他職種との比較において、処遇への強い不安や不満を感じている方が多いことがわかりました。

#### ・施設ケアマネジャーの過酷な現状

特に施設にお勤めの方からは、100対1という現行の配置基準に対し、「物理的に丁寧なケアマネジメントを行うことが困難である」といった切実な声が多く寄せられています。

#### ・ベテラン層が支える現場

一方で、回答者の約72%が5年以上の経験を持つベテラン層であり、秋田の介護は皆様の豊かな経験と献身によって支えられていることも再確認されました。

### おわりに

皆様からいただいた自由記述の中には、制度の隙間で悩む姿や、それでも利用者のためにと奔走する日々の様子が克明に記されていました。

この調査結果は、当協会が今後、行政や関係機関に対して現場の真実を伝え、改善を働きかけていくための極めて重要な基礎資料となります。皆様の「声」を届けていただき、本当にありがとうございました。

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 調査研究委員会

アンケート調査の詳細結果については  
秋田県介護支援専門員協会ホームページをご覧ください ⇒



第24号（発行日 令和8年3月31日） 年1回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号 秋田県社会福祉会館3階

Tel: 018-893-4011

Fax: 018-893-4012

E-mail: acma@acma.jp

ホームページ: <https://www.acma.jp/>

広報委員会 田森 敏男（県北地区介護支援専門員協会） 根本 智美（県北地区介護支援専門員協会）

川端 洋祐（中央地区介護支援専門員協会） 畠山 北光（中央地区介護支援専門員協会）

渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会）